

交通機関の不通と気象警報発表に伴う授業・試験の取り扱い

(1) 交通機関の不通の場合

1. 交通機関開通時刻と授業開始講時

7時までに解除	1 講時から実施
10時までに解除	3 講時から実施
13時までに解除	5 講時から実施
13時以降に解除	終日休講

2. 対象交通機関

近畿日本鉄道京都線で向島駅を含む区間

(2) 気象警報発表の場合

1. 対象とする気象警報（以下「警報等」という）

【警報】：暴風警報・暴風雪警報

【特別警報】：大雨特別警報・暴風特別警報・大雪特別警報・暴風雪特別警報

2. 警報等発表対象区域

下記表のいずれかの区域において警報等が発令された場合は、休講となります。

一次細分区域	市町村等をまとめた地域	二次細分区域
京都府南部	南丹・京丹波	南丹市、京丹波町
	京都・亀岡	京都市、亀岡市、向日市、長岡京市、大山崎町
	山城中部	宇治市、八幡市、城陽市、京田辺市、久御山町、宇治田原町、井手町
	山城南部	木津川市、和束町、精華町、笠置町、南山城村

3. 警報等解除時刻と授業開始講時

発令状況	授業（試験）の取扱い
7時までに解除された場合	平常どおり授業開始 (定期試験の場合、予定どおり実施)
10時までに解除された場合	3 講時より授業開始 (定期試験の場合、4 講時より実施)
13時までに解除された場合	5 講時より授業開始 (定期試験の場合、6 講時より実施)
13時までに解除されない場合	終日休講

※注意事項

①解除時刻の確認は京都府地方気象台の発表によります。

②授業開始後に警報等が発令された場合、その時限の授業は平常通り実施し、次の時限以降の授業は上記表を適用します。ただし、当該授業の継続が困難な場合は直ちに休講とする場合があります。

③定期試験についてもこれを準用します。また、定期試験時に警報等が発令され、休講措置が取られた場合は、改めて日時・方法等を定めます。

④警報等が発令され休講措置が取られた場合は、課外活動を含め本学のすべての施設利用を中止します。ただし、すぐに自宅へ帰宅することで「生命・身体に危険が生じる恐れがある」と大学が判断した場合には、教職員の指示に従い構内の安全な場所に避難する等の行動をとってください。

⑤上記は大学周辺地域についての警報等に関する措置であるため、各自の居住地・利用交通機関の情勢を判断して適宜行動してください。

参考：気象庁「特別警報」ホームページ

<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/tokubetsu-keiho/index.html>